

肘折地区土砂災害対策完了式



法面对策工

肘折希望大橋

温泉街

いでゆ館

崩壊後撮影 ↓



護岸工

(ドローンで上空より撮影)

関係機関の多大な活躍で工事が完了し、住民の不安は解消された。以前のような安心した生活に戻ることが出来て、観光業の振興も図られると思う。



舟山康江参議院議員祝辞



加藤鮎子衆議院議員祝辞

平成24年4月10日～5月13日にかけて、大蔵村肘折地区において計5回に及ぶ地すべり性の崩壊が発生しました。これにより県道57号は崩落し、銅山川は崩壊土砂により河道が一時閉塞するなどの事態が発生。

山形県と国土交通省は県道57号の復旧と崩壊対策を進め、平成25年11月には肘折希望大橋が完成し、この度、崩壊対策として国土交通省が実施した法面对策工、護岸工を完了することができました。11月13日にはすべての対策工が完了したことを記念して大蔵村のいでゆ館にて完了式を挙行了しました。

式には関係者45名の出席をいただき、新庄河川事務所長がこれまでの対策工を報告し、地区の安全が確保された事を再確認しました。



加藤大蔵村長挨拶



大沼みずほ参議院議員祝辞



国土交通省
今井保全課長

肘折地区として経験したことのない災害だった。対策の完成は肘折地区の安全安心が確保されると安堵している。



地域の声
肘折地区代表 早坂氏



田村事務所長による
工事概要説明

11月13日 大蔵村 いでゆ館 ゆきんこホール にて

H28.11 銅山川砂防出張所